

## 会議・行事の記録

教 育 長	課 長	課長補佐	係 長	合 議	提 案
合議先（企画振興課・熊石教育事務所）		決裁年月日	平成30年2月28日（水）		
		会議名称	平成29年度 第2回八雲町文化財保護審議会		
		会議日時	平成30年1月22日（月）10時00分～12時00分		
		会議場所	公民館 第1会議室	起案者	主事 柴田信一
<p>◆出席者：○文化財保護審議会委員：井上会長・長坂副会長・幸村委員・高橋委員・庄内委員・三浦委員・小島委員。 ○教育委員会：田中教育長・足立社会教育課長・佐藤社会教育課補佐・柴田文化財係長・大谷文化財係。 ○傍 聴 者：なし。</p>					
<p>1. 開 会 2. 挨拶 田中教育長 3. 議 題</p> <p>(1) 八雲町文化財保護審議会委員の制度及び任務について 新任の委員がいることから、事務局より説明を行った。</p> <p>(2) 議案第1号 会長及び副会長の選出について 委員の互選により、会長に井上委員、副会長に長坂委員が選出された。</p> <p>(3) 町指定文化財候補について 事務局より、平成27年の第2回審議会で町指定文化財候補となった文化財について、平成29年第1回審議会で出された意見とそれに対する対応を説明し、意見を受けた。 委員：様々な候補が出されているが、1件1件について資料を集め、全道的にはどうなのかという調査も必要であり、優先順位をつけて対応してはどうか。まず、2020年には、白老に国立アイヌ民族博物館が建てられることもあり、丸木舟などアイヌ関連のものを早く調査するのがよいのではないか。 事務局：この方向で対応したい。 委 員：鉾山墓地については、資料だけでなく一度現地を見る必要があるのでは対応してほしい。 事務局：5月ごろに草刈りを行い、現地確認を行うようにしたい。 委 員：八雲焼については、町指定文化財候補としてはどうなのか。土地の保護などはしているのか。 事務局：元はトコタン焼といわれたが、どこから来たどんな人が作り、どこへ</p>					

行ったかもわからない。しかし、北海道内で発掘された窯跡はこのみであり、貴重な遺跡であり、焼物は貴重な文化財と考えている。窯跡のある土地は、個人の土地であるが河川敷であり、開発の予定はなく、保護をお願いしている状況である。

(3) 報告第1号 平成29年度文化財関係事業(下半期)の実施報告及び決算について

事務局より報告、質疑なし。

(4) 報告第2号 平成29年度埋蔵文化財保護業務について  
事務局より報告、質疑なし。

(5) 報告第3号 木彫り熊に関する展示会及び講演等について  
事務局より、公民館講座の木彫り熊講座の状況も合わせて報告。

委員：以前は八雲の木彫り熊は商標登録などしていたそうだが、今はしているのか。八雲のブランドを守るためする必要はないのか。

事務局：戦前にあった農民美術研究会（徳川農場）が行っていたが、解散とともに登録もしていないと思われる。商標登録は販売のための制度であり、登録料もかかるため、町が行うのにはそぐわない。

委員：八雲の木彫り熊をPRするにあたり、町や資料館等の公認マークがつけられるとよい。商品を公認するとか、そのためのガイドラインとかはないのか。

事務局：現在そういった公認マークやガイドラインはないので、設定を検討したい。

(6) 報告第4号 郷土資料の寄贈状況について  
事務局より報告、質疑なし。

(7) その他

- ・今年木喰行道生誕300周年にあたるため、問い合わせが増える可能性があることを連絡。
- ・補足で、昨年に函館市縄文文化交流センターの特別展に八雲から土偶を貸し出したことを報告。